

横浜市立神奈川小学校が「潮彩の渚」で環境学習を実施しました

1. 実施日及び参加者

令和2年9月16日(水)～ 17日(木) 4年生 80名(2日間×2班)

2. 実施場所

事務所構内 多目的プラザ及び潮彩の渚(人工干潟)

3. 概要

今年はコロナ禍の中、その感染防止対策を行い実施しました。両日とも2班に分け、それぞれ交互に、多目的プラザにおいては、干潟の役割や東京湾にはどんな生き物が住んでいるのかを学びました。干潟においては、砂を掘ったり、石をひっくり返したりして見つけた貝やカニなどを採集して観察しました。また、水槽にあらかじめ採取した生き物を入れ、それらを観察しました。

生き物を見つけ、生き物を見つめる子供達の目の輝きや表情の豊かさに圧倒されました。子供達からは「はじめてカニに触った。」「もう少し干潟で観察したかった。」などの声が聞かれ、地元の海に住む沢山の生き物に触れ、海の環境について一層の理解と関心を深めていただきました。



干潟について勉強



干潟の観察①



干潟の観察②



水槽の観察

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所
〒221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4
TEL:045-461-3892 FAX:045-461-3887
総務課長 赤坂